３Ｒ瓦版（４月号）

© 2013 フジコ イトウ All Rights Reserved.

RepairFactory ㈲本杉工機

京都府久世郡久御山町田井新荒見 220 番地

tel：0774-46-4654

日本のゴミ問題について

◆ゴミの排出量

平成 24 年度の結果によると、日本人が一人当たり排出するゴミの量は 1 日 963ｇ、つまり 1 家庭 4 人家族分に換算すると、1 年間でなんと 1.4t ものゴミを出しているのです。

リサイクル率は、20.4%とまだまだ低いのが現状です。リサイクルできるものや自治体によってのリサイクル可能範囲の違いも大きな問題です。

ゴミ焼却施設は、1189 もの数があります。これは、日本は国土が狭いため、減量処理が必要不可欠であり、海外とは比べ物にならないくらいの施設数です。以前は負のイメージであったゴミ処理施設が、今では発電設備を有する施設が全体の 26.7%まで上昇してきており、またダイオキシンを発生しない・外に出さない焼却施設ももう当たり前となっています。

現在、日本のゴミ処理施設は、高効率長寿命なものになりつつあり、海外でも高く評価されています。

しかし！ゴミの最終処分地残余年数は、あと 19.7 年！

平成 24 年度の時点で最終処分場の残存容量から鑑みる最終処分場の残余年数

一人一人がゴミを減らすことこそが、必要不可欠！！

◆ゴミの減量

25 年の 9 月号で「食品ロス」についてはお話しましたが、今度はリサイクルの観点から、お話させていただきます。

プラスチックリサイクルについては、容器包装リサイクル法が関係しており、容器包装でないオモチャや買ってきたビニル袋・ゴミ袋、ジップロック、ハンガー、ストロー、クリーニングのカバーや目薬容器などはプラスチックリサイクルはできません。逆に、容器包装である化粧品や食品トレイなどのプラスチックはリサイクルできます。

京都市を例に挙げますと、予定の半分しかプラスチック資源ごみとしての排出量は達していません。お菓子の袋やアイスクリームの容器などプラスチックマークがついているものは、しっかり分別することでゴミの減量にもリサイクルの増加にもつながります。

牛乳パックや雑誌・新聞・広告の紙、段ボールなどを古紙回収に出すこともリサイクル。生ゴミ処理機も自治体ごとに補助金が出ていたりします。また着なくなった服はお店に持ち込むと商品券と交換してもらえたりと今は何でもリサイクル可能になってきています。

何でもゴミにするのではなく、捨てる前に一度リサイクルできるか？と考えてみてはいかがでしょう？モータも修理することでリサイクルを考えてみませんか？